



青森県立大間高等学校 生徒指導部通信

2023 年（令和 5 年）

10 月 26 日（木）

文責：田中大基

2023 vol.11

▼Contents

- 1 他人を思いやり命を大切にする心を育む対話集会報告
- 2 避難訓練Ⅱ報告
- 3 東北大会出場報告

1 他人を思いやり命を大切にする心を育む対話集会報告



10 月 19 日（木）青森県が主催する「他人を思いやり命を大切にする心を育む対話集会」を 1 学年対象に実施しました。当日は、**地域住民の皆さん**や**青森大学学生**にもご参加いただき、グループごとに「**思いやり**」や「**命の大切さ**」について討論しました。疾風怒濤の高校生活で悩むとき、苦しいとき、どう考え行動するべきか。**学校外の異年齢の方と討論**できたことは、社会に出る直前の高校生として大きな経験となったはずです。



初対面の人との対話は難しいけど面白い！



運転中事故に直面、残された人のうち誰を助ける？



水泳選手の池江璃花子さん闘病生活から何を学ぶ？



自分の言葉を人前で発表するには？

対話集会に参加してみて、みんなで思いやりや、命の大切さについて改めて考えることができました。思いやりの奥にある、考え方や、人それぞれの価値観を大切にしていきたいと思いました。また、水泳選手の池江さんが白血病で400日もの間、水泳ができなかったことを聞いて、「当たり前」なことはいつまで続いて、いつなくなるかわからないので、今、生きていることや、1分1秒を大切にしたいと思いました。

対話に参加してみて、自分の中の正解は、みんなにとったら、正解ではないのかもしれないので、自分と異なる意見だけでなく、自分の中に受け入れて、新しい考えとして考えていきたいと思いました。また、話す側だけでなく、聞く側としても、正しい態度で、自分から意見を聞きにいく姿勢が重要だと思いました。 11HR 宮下 凜

今回の対話集会を通して、私はまず、人の意見について考えるということを目指にしたのですが、人の意見をしっかりと聞くことにより、意外性のある意見が出てきて、かなり面白いと思いました。他にも、話をしっかりと聞いたり、人の目を見るなど、自分にとってよりよいものとなりました。

対話に参加して、私はもっと人の話を聞いて、自分の考えを広げていくとともに、話し方にも気をつけていきたいと思いました。他にも命を大切に生きていくという点やしごとく生きていくという点に対して、もっと真剣になっていこうと思いました。今回はこのような集会を開いてくださり、本当にありがとうございました。 12HR 外崎 幸太

2 避難訓練Ⅱ報告



9月13日(水) 地震後、ボイラー室からの火災発生を想定し、避難訓練を実施しました。生徒たちは放送の指示、及び職員の誘導に従い、安全かつ迅速にラグビー場に避難しました。当日は、大間消防署にご協力いただき、3階から救助袋を用いた降下訓練、消火器を用いた消火訓練を合わせて行いました。

3 東北大会出場報告



9月29(金)～30日(土)福島市で行われた東北高等学校新人陸上競技選手権大会に、21HR 伊藤真樹君と11HR 福田望さんが、それぞれ砲丸投げで出場しました。東北中から集まった強豪選手としてのぎを削り大健闘してくれた大会でした。今後も練習に励み、更なる飛躍を期待します。